

花火クイズ

第1問 打ち上げ花火を発射するために使う筒のことを何と呼ぶでしょう？

1. 打ち上げ筒 2. 玉筒 3. 砲筒

第2問 日本最古の花火大会とされる「隅田川花火大会」は、江戸時代のある出来事をきっかけに始まりました。その出来事とは何でしょう？

1. 将軍の就任祝い
2. 飢饉や疫病で亡くなった人々の慰霊
3. 江戸城の完成祝い

第3問 花火の色は、火薬に金属の粉を混ぜることで出します。赤い色を出すのに使われる金属はどれでしょう？

1. ストロンチウム 2. バリウム 3. ナトリウム

第4問 花火玉をつくる職人のことを何と呼ぶでしょう？

1. 花火師（はなびし）
2. 炎職師（えんしょくし）
3. 火工師（かこうし）

第5問 日本三大花火大会のひとつ「長岡まつり大花火大会」は、どの都道府県で開催されるでしょう？

1. 秋田県 2. 新潟県 3. 山形県

第6問 打ち上げ花火が空で丸く開くのはなぜでしょう？

1. 風が均等に吹くから
2. 花火玉の中の火薬が四方八方に均等に広がるから
3. 特殊なガイドレールに沿って飛ぶから

第7問 日本三大花火大会のひとつ「大曲の花火（全国花火競技大会）」が開催される都市はどこでしょう？

1. 秋田県大仙市
2. 岩手県花巻市 3. 宮城県仙台市

第8問 花火大会でよく見かける「ナイアガラ」とは、どのような花火のことでしょう？

1. 空高く打ち上げて大きく開く花火
2. 橋や栈敷に仕掛けて滝のように流れ落ちる花火
3. 水面に浮かべて光る花火

第9問 花火玉の大きさを表す「号（ごう）」という単位があります。「10号玉」の直径はおよそどのくらいでしょう？

1. 約10センチ 2. 約30センチ 3. 約1メートル

第10問 花火大会の人気演目「スターメイン」とは何でしょう？

1. 星の形に開く特大花火
2. 複数の花火を連続して素早く打ち上げる演出
3. 花火師が星を模して並べた地上花火

第11問 日本で花火（打ち上げ花火）が初めて見られたのはいつごろとされているでしょう？

1. 室町時代（14～15世紀）
2. 江戸時代初期（17世紀初め）
3. 明治時代（19世紀末）

第12問 隅田川花火大会では、花火師のグループが技を競い合います。会場は第1会場・第2会場の2か所ありますが、その間を流れる川は何でしょう？

1. 荒川 2. 隅田川 3. 江戸川

第13問 花火大会の締めくくりに行われる、多数の花火を一気に打ち上げる盛大な演出のことを一般に何と呼ぶでしょう？

1. 大打ち上げ（クライマックス）
2. 打ち初め
3. 納め花火

第14問 花火玉の中心部にある「割薬（わりやく）」の役割は何でしょう？

1. 花火玉を空高く打ち上げる燃料
2. 花火玉を空中で爆発させて星を飛び散らせる
3. 花火の色をつける発光剤

第15問 夏の花火大会で着る「浴衣（ゆかた）」ですが、花火大会と浴衣が結びついたのはいつごろからでしょう？

1. 江戸時代から 2. 明治時代から 3. 昭和時代から

こたえ合わせ

第1問

答え：打ち上げ筒

解説：打ち上げ花火を発射する筒は「打ち上げ筒」と呼ばれます。花火玉のサイズに合わせてさまざまな太さの筒が使われ、花火師がひとつひとつ丁寧に設置します。

第2問

答え：飢饉や疫病で亡くなった人々の慰霊

解説：1733年(享保18年)、大飢饉や疫病の犠牲者を慰霊するために両国川開きで水神祭が行われ、これが隅田川花火大会の起源とされています。

第3問

答え：ストロンチウム

解説：赤い炎はストロンチウム、緑はバリウム、黄色はナトリウムというように、金属の種類によって炎の色が変わります。これを「炎色反応」といいます。

第4問

答え：花火師(はなびし)

解説：花火玉を作り、打ち上げを行う職人は「花火師」と呼ばれます。「煙火師(えんかし)」という呼び方があります。花火玉1つひとつを手作業で仕上げる、長年の修業が必要な技の世界です。

第5問

答え：新潟県

解説：長岡まつり大花火大会は新潟県長岡市で毎年8月2・3日に開催されます。1945年8月1日の長岡空襲の犠牲者慰霊と復興を祈念して始まった、歴史ある花火大会です。

第6問

答え：花火玉の中の火薬が四方八方に均等に広がるから

解説：花火玉の中には「星(ほし)」と呼ばれる発光剤が球形に均等に詰め込まれており、爆発のエネルギーで四方八方へ同時に飛び散るため、空で丸く開いて見えます。

第7問

答え：秋田県大仙市

解説：大曲の花火は秋田県大仙市で毎年8月に開催される国内最高峰の花火競技大会です。全国の花火師たちが技を競い合う伝統ある大会として知られています。

第8問

答え：橋や棧敷に仕掛けて滝のように流れ落ちる花火

解説：ナイアガラは橋や高い建物に仕掛けた仕掛け花火で、世界三大瀑布のひとつ「ナイアガラの滝」に見立てて光の滝を演出します。隅田川花火大会でも人気の演目です。

第9問

答え：約30センチ

解説：花火玉は「1号=直径約3センチ」が基準で、10号玉は直径約30センチになります。この10号玉が開くと、空に直径約300メートルもの大輪の花が咲きます。

第10問

答え：複数の花火を連続して素早く打ち上げる演出

解説：スターマインは「速射連発花火」とも呼ばれ、多数の花火を短時間に連続して打ち上げ、音楽に合わせて華やかに演出するものです。花火大会のクライマックスの定番です。

第11問

答え：江戸時代初期(17世紀初め)

解説：日本に花火が伝わったのは江戸時代初期とされています。徳川家康が1613年(慶長18年)に外国人商人の花火を見物したという記録が残っています。

第12問

答え：隅田川

解説：隅田川花火大会は東京都の隅田川沿いで開催され、川の上空に花火が打ち上げられます。川面に映る花火の美しさも大きな魅力のひとつです。

第13問

答え：大打ち上げ(クライマックス)

解説：花火大会の最後に行われる怒涛の連続打ちは「大打ち上げ」や「クライマックス」と呼ばれます。花火師たちが総力を尽くした圧巻の締めくくりで、観客が最も沸く瞬間です。

第14問

答え：花火玉を空中で爆発させて星を飛び散らせる

解説：割薬は花火玉の中央に詰められており、空中で点火されると爆発し、周囲に詰められた「星(発光剤)」を四方へ飛び散らせます。これによって大輪の花が咲きます。

第15問

答え：江戸時代から

解説：江戸時代、夏の川開きや花火見物には浴衣で出かけるのが庶民の楽しみでした。夕涼みを兼ねた風習として根付き、現代まで受け継がれてきた日本の夏の風物詩です。